

令和8年度 第2回岸和田市教育委員会評価委員会 会議録

○日 時：令和8年8月6日（木）午前10時～午前10時45分

○場 所：市役所新館4階 第1委員会室

○出席者

委員長 坂本 暢章 委員 上田 直美 委員 斉喜 博美 委員 土井 奈保

○事務局

教育長 谷 桂輔

教育総務部長 山田 潤／学校教育部長 倉垣 裕行／生涯学習部長 池内 正彰

総務課長 柿花 真紀子／学校適正配置推進課長 今橋 章吾／学校給食課長 寺埜 朗

学校管理課長 倉橋 良弥／産業高校学務課長 橋本 純／学校教育課長 石井 良和

人権教育課長 松本 真里／生涯学習課長 長谷川 真紀／スポーツ振興課長 仲村 英二

郷土文化課長 井上 慎二／図書館長 宇野 義文／総務課参事 二宮 明生

○傍聴者：3名

《評価委員会開会》

○坂本委員長

事務局より本日の進行について説明をお願いします。

○二宮総務課参事

本日は、委員からのご意見をもとに各シートの修正点及び教育委員会の考え方について、各部単位でご説明申し上げます。

説明の際、委員の皆様には、資料No.1及び資料No.3をご覧ください。資料No.1「評価委員会委員からいただいた主な意見」には、委員の意見の下に、網掛けで、点検・評価シート（案）の修正の趣旨と、教育委員会の考え方を記載しております。点検・評価シート（案）の修正内容の確認は、資料No.3「点検・評価シート（案）」をご覧くださいことになります。

○坂本委員長

それでは、点検評価シートの確認をいたします。委員の皆様には資料1をご用意ください。教育総務部から説明をお願いします。

○山田教育総務部長

教育総務部に関する項目について、委員の皆様からいただきましたご意見と教育委員会の考え方につきまして、ご説明申し上げます。

基本的に、資料1「評価委員会委員からいただいた主な意見」に基づいてご説明をさせていただきますが、頂戴したご意見に基づいて修正したものについては、資料3「点検・評価シート（案）」をご覧ください場合もありますので、両方の資料のご用意をお願いします。

資料1の1ページ項目番号10「教員の業務負担軽減に向けた取組の推進」については、ご意見をいただいておりますが、第1回目の会議での委員からのご発言を受け、シートを修正をしています。

資料3「点検・評価シート（案）」1ページをご覧ください。

第1回目の会議で、委員から『4「取組の成果・効果の目標」として、面談を実施することや人材を派遣することは、いわゆる仕事の成果として、役所の仕事としては100点なのですが、やはり、効果という点では、先生方の負担軽減がなされているのかということを見ていただきたいと思います。

昨年度の評価シートで時間外勤務が80時間超の先生の人数が半減し、今回はそこから約2割弱減少しています。残業を減らしていただいているという実績についても、しっかりとアピールしていただき、さらに施策を進めていただきたい』とのご発言を頂戴しました。

委員のご意見を受けまして、今回、成果の指標に「時間外在校等時間が80時間を超えた月がある者の全体比率」を追加しました。5「令和7年度の取組内容」の1つ目の◇を加えました。産業医面談の実績については、二つ目の◇の中に括弧書きへの掲載に変えています。また6「評価」の1つ目の◇の内容を、80時間を超えた月がある教職員の比率を減らすことができたという記載に改めています。

続きまして資料1にお戻りいただき、1ページをご覧ください。項目番号8「照明設備LED化による教育環境の改善」について、『評価のところで3年続けて実施率が目標を下回ったことに対して、外的要因を分析し、現状に見合った目標値に見直してはどうか』というご意見をいただきました。

教育委員会の考え方ですが、本市学校施設における工事において、人件費上昇や人手不足、材料費の高騰や材料不足による影響が皆無とは言えませんが、工事の先送りや遅れが出るまでには至っていません。実施率が目標を下回ったのは、外的な要因によるものではなく算定方法に問題があることがわかりました。

学校施設長寿命化計画では、小中学校あわせて184棟を対象施設として、2021(令和3)年度から2035(令和17)年度までの計画期間に、施設ごとに改修する時期と方法を定めています。計画期間中に改修時期を迎える施設は111棟ですが、その中で優先順位の高い94棟を対象に整備を行うこととしています。

点検評価に当たり184棟を母数に実施率を算定したため、計画と差異が生じました。また、年目標となる実施率についても、計画では各棟の改修期間を5年区切りとし実施に幅を持たせており、単純に平準化して比較できるものではありませんでした。

このことから、94棟を母数に実施率を算定し直し、目標値についても、5年区切りで設定し直すこととしました。

実施率の算定の見直しによる点検・評価シートの修正箇所について説明します。

資料3「点検・評価シート(案)」7ページをご覧ください。

4「『取組の成果目標』の表左欄、工事実施率の年目標「約7%/年」を削り、表右欄、成果の指標に「2025年度目標値25.5%」「2030年度目標値70%」を追加しました。

8ページをご覧ください。5「令和7年度の取組内容」の(2)実施率について、94棟を母数とする算定の考え方を示し、令和4年度から令和7年度の値を修正しました。

つぎに、6「評価」の総括評価について、「目標を下回る」を「目標を上回る」と変更しました。また、このシートから判断することはできませんが、工事を実施する施設や内容に計画と差異が生じているため、計画の見直しが必要であることを課題として明記しました。

教育総務部からは、以上となります。

○坂本委員長

只今の説明について、ご意見、ご質問等ございませんか。

項目番号8ですが、評価委員会の意見も踏まえて、目標値の見直しを変更していただきました。なかなか、1度立てた計画に縛られてしまうことがありますが、柔軟に考えていただいております。成果の指標である2025年度における目標値25.5%のところ、45.74%まで実施されています。2030年度には70%、2035年度には100%の実施率を目指しておられ、まだまだ長丁場の事

業だと思いますがよろしくお願いします。

他に何かございませんでしょうか。意見がないようでしたら、教育総務部については以上とします。

次に、学校教育部にまいります。学校教育部から説明をお願いします。

○倉垣学校教育部長

私から学校教育部に関する項目について、委員の皆様からいただきましたご意見と教育委員会の考え方につきまして、ご説明申し上げます。

資料1の2ページをご覧ください。項目番号1「授業の改善・読書活動の充実」について、1点ご意見をいただいております。

『放課後学習支援事業に代わるものが「AIドリル」であることと、「AIドリル」についての説明がもう少しある方がいいのではないか。』というご意見をいただきました。

いただいたご意見に対しまして、ご説明いたします。

全ての子どもたちの個別の課題や習熟の度合いに応じた学習ができる環境を整えるため、全児童生徒が活用できるAIドリルを導入し、基礎的・基本的な知識技能の定着と家庭学習や自主学習習慣の定着を図ってまいります。

AIドリルは誤答の状況や定着度・理解度をAIが判断し、個に応じた問題を出題するものです。よって、AIドリルは授業にとって代わるものではなく、あくまでも学習は教師による指導が中心であると考えます。また、AIドリルは児童生徒の学びを補完・補充するものと捉えており、児童生徒一人ひとりの学習状況に応じて活用することで、予習・復習をしたり、つまづいているところからの学び直しなど、個に応じた学習環境づくりに資するものと考えております。

今年は導入年度ということで、ステップ1としてまずは「触ってみる」期間、ステップ2として「部分的に使う」期間、ステップ3として日常的な活用へ取入れる期間の3段階のステップを設定し、子ども達がAIドリルに慣れ活用することに重点を置き推進してまいります。学校の実態に合わせて先進的な取り組み事例を周知し、活用につなげてまいります。資料3「点検・評価シート（案）」11、12ページにおける点検・評価シートの修正・変更はございません。

資料1にお戻りいただき、2ページをご覧ください。

項目番号5「生徒指導体制・教育相談体制の充実」について1点ご意見をいただいております。

『暴力行為やいじめについて、積極的に認知を行っていることによって認知件数が増加しており、先生方の努力の結果だと感じます。また、暴力行為やいじめをしてしまう児童生徒が問題と思われることの方が多いかもしれませんが、根本的にその児童生徒にも心に抱えているものがあるかもしれないので、それぞれの心に寄り添ったかかわり方や何でも話せる関係づくりなどが大切だと考えています。これらは難しい問題ですが、学校でも組織的に対応されているので、今後件数が減っていくことを期待しています。』というご意見をいただきました。

委員ご指摘の通り、ささいなことからトラブルになり暴力行為に発展してしまうケースや、感情を抑えることが苦手で暴言や暴力・物に当たるなどのケースも見られました。暴力行為に対しては毅然とした組織的な対応を行いながらも、児童生徒理解をベースに、ソーシャルスキルを育て、温かい人間関係作りや自尊感情を育んでいく等の「発達支持的生徒指導」の考え方が必要であると考えます。学校の粘り強い指導とともに、外部機関との連携や専門家の配置等、委員会としての支援も引き続き行ってまいります。点検・評価シートの修正箇所ですが、資料3「点検・評価シート（案）」13、14ページをご覧ください。

点検・評価シートの6「評価」の「岸和田市小中学校における不登校児童生徒・暴力行為・いじめ

認知の数」の表にいじめ解消率を記載するとともに、令和7年度のいじめ解消率が確定しましたので、記載しております。

資料1にお戻りいただき、2ページをご覧ください。

項目番号7「体力向上の取組の推進」について2点ご意見をいただいております。

1点目は、『スキップロープチャレンジの参加数に参加校数を加えてはどうか。』、2点目は、『6「評価」の中に、1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の体力合計点の平均データを入れることの意図が見えにくいので、方向性の整理をお願いしたい。』というご意見をいただきました。

2点目のご意見ですが、児童生徒の体力課題に対して有効な指導方法や発達段階に応じた指導方法を専門家から学び、指導に活かしていきながら、運動機会の少ない児童生徒の運動時間を増やせるよう取組みを推進し、点検評価の指標としてお示しできる内容を研究してまいります。

点検・評価シートの修正箇所ですが、資料3「点検・評価シート（案）」15、16ページをご覧ください。1点目については、6「評価」欄下部の「スキップロープチャレンジ参加数」の表の下に各年度の小学校および中学校の参加校数を記載しました。2点目については、第1回評価委員会でお示した点検評価シート（案）から6「評価」欄に記載していました「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の体力合計点の平均」の表を削除しました。

資料1にお戻りいただき、3ページをご覧下さい。

項目番号4「研修・啓発の充実」について1点ご意見をいただいております。

『日本語指導が必要な児童生徒数の推移を表すことで、学校現場の苦労や事業費の増額がわかりやすいのではないか。』というご意見をいただきました。

日本語指導が必要な児童生徒が年々増加しております。児童生徒数の推移を表すことで、児童生徒の状況や日々の生活言語や学習言語を支援する通訳や日本語指導支援員が大変重要な存在であるということが伝わりやすいものと考えます。

点検・評価シートの修正箇所についてですが、資料3「点検・評価シート（案）」19、20ページをご覧ください。20ページ6「評価」の◇6つ目の日本語指導が必要な児童生徒について令和6年度、令和7年度の児童生徒数の推移を記載し、いただいたご意見を反映いたしました。

学校教育部は以上でございます。

○坂本委員長

只今の説明について、ご意見、ご質問等ございませんか。

項目番号1の今後の方向性に示されているAIドリルに関して、詳細のご説明をいただきました。

確か6月の中旬か下旬に利用にむけてアカウントが配られる予定だとお伺いしましたが、活用の方はどのような様子でしょうか。

○倉垣学校教育部長

各学校によって状況は異なりますが、活用の方は、一定進んでいるところです。

○坂本委員長

資料3の14ページに、いじめの解消率を、追記していただきありがとうございます。

こちらは7月末に確定した数字となっております。年度末までのすべてのいじめに関して後を追っていただいて、その成果を上げていただいていることだと思います。小学校で89%、中学校で95%と高い解消率を出していただき、非常にありがたく思っております。

国のデータだけではなかなかここまで見えないのですが、しっかりと後を追っていただいていることに非常にありがたいと思っております。引き続きよろしくお願いします。

もう1点、項目番号4の日本語指導に関して、今後ますます増えていく傾向を感じています。日本の人口が1億2,000万人を切る中で、在日外国人は過去最高になっていますので、この辺の対応というのは、非常に重要になってくると思われますので、引き続きよろしくをお願いします。

他に何かございませんでしょうか。意見がないようでしたら、学校教育部については以上とします。次に、生涯学習部にまいります。生涯学習部から説明をお願いします。

○池内生涯学習部長

私から生涯学習部に関する項目について、委員の皆様からいただきましたご意見と教育委員会の考え方につきまして、ご説明申し上げます。

項目番号11「生涯学習基本方針の推進」について、1点ご意見をいただいています。

ご意見の内容は『生涯学習支援チームについて、どのように集められたのか、また構成メンバーの年代などが情報としてあるとフラグシップ事業の目指す生涯学習がわかりやすいのではないか』というご意見です。

生涯学習支援チームの委員は、「岸和田市生涯学習支援チーム規約」にもとづき、①社会教育関係団体、②福祉・健康・人権関係団体、③産業・労働関係団体、④連合町会、⑤学校、⑥学識経験者、⑦社会教育関係職員、⑧市民・住民・ボランティア、⑨その他、支援チームが必要と認めたもの、で構成され、団体等から推薦をいただき、委員として委嘱しています。年齢については要件としておりませんので、把握していませんが、適任者のご推薦をいただいていると考えています。

点検・評価シートの修正箇所ですが、資料3「点検・評価シート（案）」21ページをご覧ください。21ページの概要欄の最下段に【注4】を追記しました。

その他、項目番号18「屋内外における多彩な行事の開催」におきまして、5「令和7年度 of 取組内容」における4つ目と6つ目の◇中の行事の実施回数及び参加者数を修正しております。

また、6「評価」のなかの2つ目の◇中の行事の実施回数及び参加者数の修正と、6つ目の◇記載内容を「改正博物館法に基づく博物館登録が完了した」に修正しております。

生涯学習部は以上でございます。

○坂本委員長

只今の生涯学習部の説明について、ご質問等ございませんか。

特段のご意見がないようでしたら、生涯学習部については以上とします。

○坂本委員長

これで各項目について確認が終了いたしました。各シートの確認作業ということで、第1回会議では全シートの説明と意見交換を行い、本日の第2回会議ではその後、私どもがお伝えした意見に対してご説明をいただきました。細かい部分や考え方の整理について、いろいろとご意見を申し上げましたが、事務局の皆様、丁寧なご説明ありがとうございました。

その他に委員の皆様、ご意見ございませんでしょうか。

○上田委員

シートの修正等、ご対応ありがとうございました。先日の施設見学ではコーディネートいただきありがとうございました。地元産のクロダイを使った給食の試食もさせていただき、本当においしくいただきました。また、この取組に視察に来られていた方もおり、取組を知っていただけることもとても大切なことだと思います。市長も子育て世代に選んでもらえる岸和田市を目指していることをおっしゃっていました。子育て世代で一番気になるのは、教育だと思います。今も頑張ってくださいと思いますが、他市に負けずにこれからも頑張ってくださいと思います。

○土井委員

点検シートでは、数字をととても具体的に出してくれており、表現の仕方を変えていただいたことでとても見やすく、理解しやすくしていただきありがとうございます。

○坂本委員長

それでは、点検シートにつきまして、確認いただきました皆様のご意見を元に、最終報告書(案)を事務局に作り上げていただきたいと思います。

最後に、私の方から、今年度の点検評価について振り返りということで、意見を少し述べさせていただきます。

評価項目については、教育重点施策の主要な施策・事業を昨年度から引き続き抽出しており、教育環境や教育内容の向上に向け継続して見直しを図っている点を高く評価いたします。

「成果の指標」については、例えば「軽減」や「改善」などの一定の成果が「評価」として表れてこない状況もありますが、項目 No. 10 における「教員の時間外在校等時間」においては「時間外在校等時間が 80 時間を超えた月がある者の全体比率」をあらたに指標に設定したことで、成果目標に沿ってより市民にわかりやすい指標設定が図られたことを評価いたします。

また、項目 No. 8 における「大規模改造工事」の実施率を実態に即した数値にあらためたことで、評価についてより実態に即したものに見直されたことも評価いたします。

「目標を下回る」評価となった項目では、今後の方向性として「改善して継続」とされていることから、事業の改善を図り、今後の成果につなげていくことを期待します。

項目 No. 9 「小・中学校の適正規模・適正配置の推進」では、引き続き、地域と十分に協議していく必要があるとされており、関係者との連携強化やタウンミーティングでの意見も踏まえながら、適正化の検討を進めていくといった改善案が示されたことは評価いたします。

また項目 No. 14 「資料の収集・整理・保存、及び郷土資料の整理・データ化の推進」では、平均来館者数や貸出数がやや減少し、目標を下回ると評価していますが、図書館業務の更なる充実を図ることはもとより、人口規模等、自治体のスケールに由る要素も加味した評価指標の見直しも必要と考えます。

点検・評価している主要な施策や事務事業については、その多くが「目標通り」以上の評価となっていることから、今後も本点検・評価の結果を活かし、具体的な取組として改善を重ね、より効果的に教育行政が推進されることを期待しております。

以上のことを踏まえ、当委員会としては、点検及び評価の結果について「おおむね適正である」とする方向で総括したいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、今のポイントをふまえて「評価委員会委員による総評」を作成したいと思います。なお、文章については、私の方で確認させていただくので、委員長一任という形でご了承願いたいですが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。

それでは、評価シートに関する評価委員による確認はこれにて終了といたします。今後、本日の内容をふまえ、「評価委員会委員による総評」を付け加え、教育委員会会議にお諮りする形となります。今後の作業における表現等の軽微な修正については、委員長に一任いただければと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。それでは、これもちまして、令和8年度第2回岸和田市教育委員会評価委員会を終了いたします。委員の皆様におかれましては、議事の円滑な進行にご協力をいただきありがとうございました。最後に、事務局から何かございますか。

○二宮総務課参事

委員の皆様、本日は、長時間にわたりご審議いただき誠にありがとうございました。

今後の予定でございますが、各シート、委員の皆様のご意見及び教育委員会の考え方、評価委員様の総評を整理し、報告書の案を作成いたします。その後、8月の定例教育委員会会議において審議いただき、承認後、9月の第3回定例市議会にて報告する予定でございます。また、市議会報告後、市のホームページに掲載するとともに、各市民センター等で公表します。事務局からの連絡は以上です。閉会にあたりまして、谷教育長よりご挨拶申し上げます。

《 教育長より挨拶 》

《午前10時45分 終了》